

同窓会 だより

信州大学医学部保健学科同窓会事務局
School of Health Sciences, Shinshu University
第5号 2007年10月



—目次—

保健学科5期生、大学院生1期生を迎えて	2
同窓会の皆様へ	3
写真で見る保健学科 ー平成18年度活動報告ー	2・3
新入教員のご挨拶	4
カーティン工科大学短期留学	8
コラム	9
総会記録	10
平成18年度事業報告	11
平成18年度医学部保健学科同窓会決算書	12
平成19年度事業計画(案)	13
平成19年度医学部保健学科同窓会予算(案)	14
同窓会役員	15
信州大学医学部保健学科同窓会会則	15
編集後記	16

2007
第5号

保健学科5期生、大学院生1期生を迎えて

信州大学医学部保健学科同総会 会長 川上 由行

(信州大学医学部保健学科 検査技術科学専攻 病因病態検査学講座 教授)

2007年3月21日(祝日)、保健学科発足後4年が経過し、学士(看護学)の68名、学士(保健学)の70名の総計138名の1期生が巣立って行った。この日を迎えた1期生の1人1人が目映く見えた。卒業生の活躍こそが、本学本学科の評価を高めていくことを胸に、大いに羽ばたいて行って欲しい。そして卒業生の中から素晴らしい業績を携えて、教育研究者として後輩の育成に関わってってくれる人材が何人も、本学に戻って来てくれることを願いたい。それだけでなく、後世に残るノーベル賞級の実績を示してくれる人材の輩出にも期待したい。

また、医療技術短期大学部としての最後の卒業生2名を送り出し、3年制教育は幕を閉じた。3年制短大教育にこれまで関わって来られた各位にとっても実に感慨深いものがあったことと思う。

また、4月6日には、保健学科5期生150名と同時に、大学院医学系研究科保健学専攻1期生28名が厳粛な式典に臨んだ。当日の朝は氷点下の冷え込みであったが、久しぶりの「ソメイヨシノ」の開花時の入学式となり、併せて快晴という好天候にも恵まれ、北アルプスの勇姿が殊のほか目に鮮やかだった。

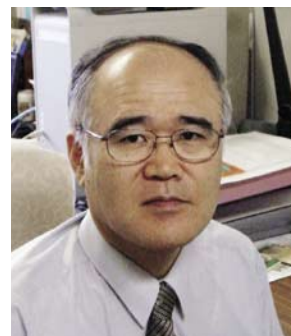
小宮山学長は挨拶の中で、新入生へのメッセージと

して、「人間力と専門能力の基盤を構築するための日々を過ごして欲しい。そして、それには4つの「C」がキーワードである旨を話された。その4つの「C」とは、

- 1:Communication,
- 2:Critical Thinking,
- 3:Creativity,
- 4:Continuous Learning

で、1つ1つの「C」について夫々コメントされた。

難関を突破してこの日を迎えた新入生には、講義、サークルなどに積極的に参画し、小宮山学長が言われた4つの「C」を胸に、自身の目標達成へ向けて着実に歩んで行って欲しい。彼らに信州大学生として自らを高めていく4年間を、また、大学院修士課程1期生には充実した2年間を過ごしていただくために、同総会は側面から応援して行きます。また、大学院博士課程の設置へ向けて順調に進行するように同総会は最大限の支援をして行きます。



写真で見る保健学科～平成18年度活動報告～



■新入生ガイダンス



■18年度総会



■スポーツ大会(検査技術科学専攻)



■スポーツ大会(検査技術科学専攻)

同窓会の皆様へ

信州大学医学部保健学科同総会 名誉会長 **市川 元基**

(信州大学医学部保健学科長／看護学専攻 小児母性看護学講座 教授)

平成15年4月に信州大学医学部保健学科に入学された第1期生が平成19年3月に卒業式を迎えました。看護師、保健師、助産師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士の国家試験を受験し、大多数の方々が医療の現場へ飛び出して行きました。また、少数の方々は進学して、大学院でさらに勉学に励み、あるいは企業へ就職して社会人として活躍されています。皆さん信州大学医学部保健学科第1期生としての誇りと自覚をもってがんばっていただきたいと思えます。

昨年度の会報では信州大学大学院医学系研究科保健学専攻修士課程の設置のための作業が進行中であることをご報告させていただきましたが、平成18年12月に文部科学省から大学院設置が正式に認可されました。平成19年1月末に入学試験を行い、看護学分野、検査技術科学分野、理学・作業療法学分野に計28名の保健学専攻第1期の大学院生が合格され、平成19年4月から医療倫理学をはじめとする保健学専攻共通科目や各専門分野の科目を学んでいます。始まったばかり

の大学院教育は教員の方も一生懸命やっておりますが、まだ慣れないこともあります。学生さんたちといっしょによりよい教育ができるよう努力していくつもりですので、よろしく願いいたします。



さて次の目標は大学院博士課程の設置です。先行して大学院博士課程の設置を申請した国立大学法人の情報を集めてみますと、修士課程より設置のためのハードルがより高く、申請をしても認められないケースもあります。信州大学としても平成21年度の設置を目指して精一杯がんばりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



■ボランティア演奏会

信州大学医学部保健学科卒業祝賀会



■卒業祝賀会

—— 平成18年度の主な活動 ——

■平成18年度卒業式

平成19年3月21日

■保健学科同窓会総会

平成18年6月21日

信州大学旭会館3階大会議室

■特別講座

平成18年6月21日



新入教員のご挨拶

信州での夏を迎えて

五十嵐 恵子

(看護学専攻 成人・老年看護学 准教授)

この4月から信州大学医学部保健学科看護学専攻、成人・老年看護学講座の准教授として着任致しました五十嵐恵子です。松本での初めての夏を迎え、ようやく仕事や暮らしにも慣れてきたところです。



初めて松本の地を踏んだのは、わずか数ヶ月前のことでした。山々に囲まれた自然豊かな環境に、初めてだというのに、不思議な懐かしさを覚えました。出身は福島県の会津です。福島県は、阿武隈高地と奥羽山脈によって、中通り・会津・浜通りの3地方に分けられます。浜通り地方は、温暖な気候ですが、会津地方は、日本海側の気候で、夏は山間部では涼しいのですが、盆地では蒸し暑く、冬は沢山の雪が降ります。猪苗代湖や磐梯山に代表される山岳、湖沼、温泉等の自然環境に恵まれ、鶴ヶ城を初めとする名所旧跡も多く、自然と歴史に恵まれた観光地です。そんなところが松本と似ているように感じたのでしょう。

看護短大、保健師学校卒業後、国家公務員等共済組合連合会虎の門病院に就職して以来10数年、東京に住んでおりました。東京女子医科大学看護大学、昭和大学保健医療学部看護学科、東邦大学医学部看護学科で看護基礎教育に携わってまいりました。これからは、ここ信州大学で、学生、臨床の方々、地域住民の方々の関わりを通して自己鍛錬していきたいと思っています。どうぞ、よろしく願いいたします。

長野へ戻ってきました

五十嵐 久人

(看護学専攻 広域看護学講座 助教)

平成19年4月から広域看護学講座に助教として着任しました五十嵐久人です。松本市に住むのは初めてですが、よく遊びに来ていた土地なので、それほど抵抗なく過



しています。ただ、一方通行や細い道が多く、渋滞で困ります。それと花粉飛散量の多さを再認識しました。信州へ戻ってきてからしばらくは花粉との戦い。そして、この文章を書いている今、秋の花粉が舞い始めたようで鼻がムズムズしています。また私が鼻をかむ音が学内にこだますることでしょう。しかし、それ以上に大変なのはこの猛暑の中、扇風機だけで過ごす職場環境に驚きました。

大阪で生まれ育ち、進学・就職で山梨、長野、宮崎へと移り、また長野へ戻ってきました。様々な地で生活することで県民性や季節感の違いなどに気付くことができ楽しく過ごし、そして自身の視野を広げることによって役立ってきました。また、保健師教育に携わる中で、県や市町村で個性の異なる保健活動を見ることができ良い経験もできました。これらの経験を活かしながら、学生へだけでなく、地域へ幅広く貢献できるよう努力していきたいと思っています。どうぞよろしく願いいたします。

自己紹介

井口 高志

(看護学専攻 成人・老年看護学講座 講師)

富士山と八ヶ岳に挟まれた地で生まれた私にとって、松本は懐かしさとともに、開放感を感じさせてくれる地であります。それは、故郷と同様に山に囲まれつつも、広い空を持っている街だからかもしれません。



私自身が何を研究し、何を教えているのか、ということについては、いつも答えに窮するのですが…、社会学を専攻し、具体的なフィールドとして、認知症介護をめぐる問題を取り上げてきました。(で、具体的に何をしているの?と、ご興味のある方は、研究室にいらしてください。とても長い拙著と、長い話にお付き合いいただくこととなりますが…)。よく、自嘲気味に「社会学者の数だけ社会学がある」と言われるのですが、私自身は、普通に生活や実践に没頭していたらやり過ぎてしまうような問いに拘ってみたり、複数の学問領域間をつなぐ「ことば」や問題を発見する、などの意義がある学問だと思っています。授業でも、身につけるべきもの(常識、制度の知識)は、しっかりと身につけてもらいつつ、そのあり方自体を問い直す視点を提示することを心がけています。

信州の地は、山や自然だけでなく、医療、福祉、地域文化に関して、「社会的想像力」を刺激してくれるような取り組みがとても多いと、既に、この半年で感じております。様々なフィールドで色々な方々から教えを受けながら、私自身からも色々なことを発信していければと思っております。どうぞ、よろしくお願いいたします。

信濃路通いの老年看護学5ヶ月 牛田 貴子

(看護学専攻 成人・老年看護学講座 准教授)

片道86kmの山梨県の自宅からの通勤も、はや5ヶ月。山々の芽吹き色は濃緑へ、湖面はくるくると表情を変え、懐かしい民家や路地が「ぼんっ」とあらわれる——結構、この移動時間が気に入っています。



愛知で保健師、大阪で助産師、東京で看護師、山梨で教員と、看護に携わってきました。教育活動では、老年看護学の授業・実習を担当しています。研究課題は、「入院・入所している高齢者の家族看護」と「中堅看護師の教員支援プログラム開発」で、いずれも約10年が経過します。県内の幾つかの病院・施設にも、以前からご協力いただいています。

私の看護の問いの原点は、学生時代にさかのぼります。特に、入院から在宅療養までの9ヶ月間かかわった高齢者とその御家族の一事例からは、本当に多くのことを学ばせていただきました。その学習環境を与え、支援し続けてくれた恩師に、今でも心から感謝しています。

信大の学生の印象は、「純朴」です。講義や実習では手応えがあり、私自身楽しく、発見の多い時間を過ごしています。まっすぐに伸びるだけでなく、しっかりと根を張り、将来枝葉を広げていける支援をしたいと考えます。よろしくお願いいたします。

自己紹介

加藤 咲子

(看護学専攻 成人・老年看護学講座 助手)

今年度の4月より看護学専攻、成人・老年看護学講座の助手に就任致しました。

出身は長野県ですが他大学にて看護学を学び、卒業後は信州大学附属病院へ就職しました。希望であった外科病棟で働くことに胸を躍らせて入職しましたが、現場の忙しさと常に命と向き合っている責任の重さに、浮かれた気分は一瞬にして払拭され毎日必死でもがいていたことを思い出します。それでも月日が経つにつれ、患者さんの反応に看護の喜びや楽しさを感じ、また医療チームの一員として役割を果たせることにやりがいを感じられるようになりました。その後外来、整形外科病棟に勤務し、この度新たに保健学科の教員として働くこととなりました。

実習に出ていると、学生が看護の難しさに苦渋している場面がある一方で、「患者さんとの関わりが楽しい」「患者さんに初めて看護としてのケアができて嬉しかった」などと顔をほころばせて話してくれる場面もあり、私自身も嬉しくなります。自分自身勉強中の身であり力不足ではありますが、そうした看護の楽しさを感じられる手助けが少しでもできるよう努力していきたいと思います。よろしくご願ひ致します。



自己紹介

下里 誠二

(看護学専攻 広域看護学講座 准教授)

私は東京都立松沢病院で17年間精神科一筋の臨床生活を送り、その後3年間国立看護大学校で教育に関わってきました。信州に20年ぶりに戻ってきて、当初（と言うか今でもですが）道がわからなかったりしました。20年たっているのだから変わってしまっていてわからなくて当然、と最初は考えていたのですが、実はそう大きくは変わっておらず、単に自分の記憶がどこかに飛んでいってしまっているだけだとうやく気がつき始めました。いまだに地名を言われてもよく思い出せませんが、それよりも早く東京での20年の暮らしも忘却の彼方ようで、つい先日松沢病院に用事があって行ってみると、駅の人混みや人の流れのすごさにあきれかえってしまいました。20年間世田谷の松沢病院近くに住んでいたのですが、周辺は徳富蘆花の旧宅で知られる芦花公園や、梅で有名な羽根木公園などがあり、また自転車で下北沢や吉祥寺にも気軽に行ける場所にあつて、子供と一緒によく散歩に出かけたりしました。長年住んだ今でも好きな町ですが、何となく別なところのような気もしはじめています。これで方言が出るようになれば完璧な信州人に戻ることができると思いますが、実家で両親と話などしてみると、これも時間の問題という気がしています。仕事に慣れるのはまだまだなのですが少しずつがんばっていききたいと思います。よろしくご願ひ致します。



自己紹介

徳武 千足

(看護学専攻 小児・母子看護学講座 助手)

はじめまして。私は、今年の4月から看護学専攻の小児・母子看護学講座でお世話になっております徳武千足と申します。



生まれたのは秋田県で根っからの田舎育ちです。私は日本海の沿岸で育ったため、海がない生活は少々寂しいですが、この信州のすばらしい山々に囲まれた自然いっぱいの環境はとても気に入っています。助産専攻の学生時代1年間をここ松本で過ごし、卒業後は、6年と少しの間、東京都内の大学病院や松本市内の病院などで助産師として主に産婦人科病棟で臨床経験を重ねてきました。たくさんの人や家族に出逢い、楽しいことも辛いこともあった現場ですが、とてもやりがいのある仕事であると感じてきました。これからは、看護を目指す学生さんたちに少しでもそのやりがいを伝えていけるように日々努力していきたいと思っております。教育の現場に入るのは初めてなため、未熟なところが多々あると思いますが、一生懸命頑張りますのでよろしくお願いいたします。

自己紹介

中西啓介

(看護学専攻 基礎看護学講座 助手)

「スタッドレスタイヤにもチェーンが必要。それも金属チェーンが良い…」厳しい冬を容易に想像させる長野県人の言葉である（白馬人だが）。私はまだ長野の冬を知らない。マイナス10度の世界とは…。



茨城県で生まれ育った私にとって、はじめての国外脱出である。読者の方々は茨城を知っているだろうか。ちなみに東北ではない（東北を悪く言っているのではないのだよ）。「いばらき」であり、「いばらぎ」ではない。実家がある「つくば市」は、東京までつくばエクスプレスで45分である（都会生活が送れることをアピール）。ちなみに映画「下妻物語」のロケ地「下妻市」までは車で40分。後続車からクラクションとパッシングという熱烈歓迎を受けたいなら、車を法定速度で走らせるのがオススメ。ちなみに病院で「こわい」という言葉を発した患者は『おそろしい』のではない。『だるい・つかれた・息苦しい…』のである。心不全患者がこの言葉を発するのを誰も望まない所以である。

長野県人は夜中にスヤスヤと眠れることを感謝したほうがよい。皮膚呼吸ができないんじゃないかと思うくらい重苦しい関東の夏…。体験だけならする価値あり。

カーティン工科大学短期留学



カーティン工科大学で得たもの

作業療法学専攻2年 林 美緒

この度、私は信州大学保健学科の海外留学プログラムに参加させて頂きました。

海外は初めてで、英語も不慣れであった私にとって、この留学は非常に不安でしたが、それを払拭する程とても内容の濃いプログラムでした。まず生活ですが、ホストファミリーはとても優しく親切な方で、生活面や言語面でのサポートを積極的にして下さいました。そのおかげで、学校の勉強に集中することができました。

学問では、非常に多くの事を学ぶことができました。英語の授業はスピーキングからリスニングまで幅広く包括しており、専門医療の授業を受ける際にとっても役に立ちました。カーティン工科大学の先生方に直接授業を受けたり、現地の病院見学の機会もあり、オーストラリアの医療の現状を理解し日本と比較することで、幅広い視野を持つことができました。

休日には、西オーストラリアの名所を巡り、存分に現地を堪能することができました。

今回のプログラムは学習の面と娯楽の面が両方とも程よく充実しており、私は非常に満足しています。次回参加する機会のある人に、私はぜひこのプログラムをお勧めしたいです。絶対何か大きなものを得られる留学になると思います。

オーストラリアで過ごした3週間

看護学専攻3年 梅田 恵理香

このCurtin工科大学短期留学プログラムに参加した3週間は、見るもの聞くものすべてが新鮮で刺激的で、毎日がとても充実し、生涯忘れられない思い出となった。ホームステイで現地の文化に触れながら大学に通い、休日はオーストラリアの大自然を満喫し、想像を遥かに超えた有意義な3週間を過ごすことができました。

大学では、3週間を通して英語の授業を受けながら、Curtinの看護学生の講義に参加したり、パース市内の病院などの施設見学をしたりした。私が一番楽しかった授業は、解剖の授業である。これはCurtinの先生が私たちに行ってくれた授業で、人の骨やカンガルーの骨などの実物を用いたり、様々な臓器を見せたりしながら人体の仕組みについてわかりやすく説明してくれたものだ。日本ではこういった実物に触れながらの授業はほとんどなかったので、自分が持っていたイメージとの違いに驚き、人体の構造についての理解をより一層深めるよい機会となった。授業や施設見学を通して、先生や施設のスタッフなどいろいろな方からお話を聞くことができ、日本とオーストラリアの共通点や相違点を知り、実感することができた。

このプログラムに関わり、支えてくださったすべての人に深く感謝したい。



■語学研修(group work)



■解剖実習



■Caversham Wildlife Park



■修了証

COLUMN
[コラム]

●大学院が設置されました



2007年4月に「信州大学大学院医学系研究科保健学専攻(修士課程)」が設置されました。入学者は以下の通りです。

- ・看護学分野 9名
- ・検査技術科学専攻 6名
- ・理学・作業療法学分野 13名

●就職支援用PCを購入しました



求人情報検索を信州大学のホームページから検索するようになったため、4年生の就職支援用にPCを1台購入しました。全員が希望通りの就職先に決まるといいですね!!

総会記録

平成19年度信州大学医学部保健学科同窓会総会記録

日 時 平成19年6月16日(土) 14時00分～16時00分

場 所 旭会館3階大会議室

出席者 川上由行同窓会長・山崎一・山崎章恵・柳澤節子・三好圭・奥村伸生・小林利江・伊藤喜世子・寺澤文子・小穴こず枝・亀子文子・村山忠勇・細田かず子・羽田幸加・佐藤尚子・高野真奈美・太田浩良・市川元基・手塚佳子・羽山正義・石田章子・沖村幸枝・川崎健治・輪湖由香理・柳澤理子・富岡詔子・上條由夏・柳奈緒美・亀岡美紀・新井慎平・毛利正直・西雄一置・山下峰・脇山直樹・藤本純光・山鹿隆義・井上一利・石毛崇之・伊藤沙織里・中村智代・石端裕一・細田健太・今西知彦・加藤亮介・赤沼宏美・篠原なつよ・高橋奈緒・吉川さくら・松原未樹・山田愛子・樋口純子・尾関美乃・梅田修平・川崎昌子・阿部雅仁・村松智恵美・日石琴美・矢野彰子・重信ゆかり・中決孝太・新田努・石垣宏尚・小林香保里(63名)

1. 保健学科同窓会長挨拶

2. 保健学科同窓会名誉会長(学科長)挨拶

3. 議長選出

伊藤喜世子氏を選出した。

4. 平成18年度事業報告及び決算報告について

資料1-1により山崎章恵幹事から事業報告があり、続いて資料1-2により柳澤節子幹事から決算報告があり承認された。

5. 平成18年度会計監査報告

小林利江監事から平成19年5月11日(金)に山本良彦監事と通帳・帳簿・証拠書類を確認したところ適正に処理されていた旨の報告があった。

6. 平成18年度委任経理金及び記念事業等特別積立繰越金について

奥村幹事から学術国際交流推進経費及び記念事業等特別積立金について質問があり、川上同窓会長から説明があり承認された。

7. 平成19年度事業計画及び予算(案)について

資料4-1により山崎章恵幹事から事業計画の説明があり、続いて資料4-2により柳澤節子幹事から予算(案)の説明があり承認された。

8. 平成19年度会費納入状況

資料5により柳澤節子幹事から説明があり、会費納入に対して更なる協力要請があった。

9. 役員改選

資料6により山崎章恵幹事から平成19年度・20年度役員が改選された旨報告があった。

10. 同窓会総会時の特別講演について

総会終了後に川上同窓会長から、池田宇一教授「動脈硬化と再生医療」の特別講演がある旨アナウンスがあった。(なお、特別講演への出席者は、63名であった。)

11. その他

なし。

平成18年度事業報告

1. 同窓会総会の開催
平成18年6月21日(水) 15:30~16:30 信州大学旭会館3階大会議室
2. 役員会の開催
平成19年6月5日(火) 18:30~21:00 信州大学医学部保健学科第一会議室
3. 幹事会の開催
第1回 平成19年1月29日(金)
第2回 平成19年4月3日(火)
第3回 平成19年5月22日(火)
4. 同窓会ホームページの運営
5. 同窓会だよりの発行(4号)
6. 在校生の教育支援
 - 1) 学生図書購入
 - 2) 実習指導者連絡協議会開催
 - 3) 学術国際交流推進(オーストラリア、カーティン工科大学短期留学プログラム)
 - 4) 卒業祝賀会
 - 5) 卒業記念写真
 - 6) 就職支援(就職支援室専用PC購入)
 - 7) 学生課外活動支援(松本ぼんぼん、スポーツ大会、ボランティア参加交通費)
 - 8) 保健学科キャンパス環境整備(学生談話室に木製テーブル16台、椅子160脚)
 - 9) 特別講演の開催
 - ①「山への思い——あこがれから行動へ——」
尾沢 洋氏(登山家, エッセイスト)
平成18年6月21日(水) 16:30~17:30 45名出席
7. 保健学科の運営支援について
 - 1) 入試広報活動支援
 - 2) 大学院支援
 - 3) 記念事業開催準備(積み立て)
8. 保健学科同窓会分科会支援
 - 1) 看護学専攻: アルプス会・桐の木会
 - 2) 検査技術科学専攻: 臨嶺会
 - 3) 理学療法学専攻・作業療法学専攻: 州嶺会
9. その他
 - 1) 信州大学同窓会連合会との連携
 - 2) 信州医学振興会支援

平成18年度医学部保健学科同窓会決算書

収入

平成19年5月11日現在

事 項	18年度予算額	18年度決算額	増減(－は減)
前年度繰越	1,149,049	1,149,049	0
会費(在校生)	320,000	320,000	0
会費(新入生・3年次編入生含む)	7,720,000	7,720,000	0
利息	0	1,354	1,354
合 計	9,189,049	9,190,403	1,354

支出

平成19年5月11日現在

事 項	18年度予算額	18年度決算額	増減(－は減)
1. 在校生の教育支援及び保健学科の運営費補助			
・図書購入費	500,000	500,000	0
・学術国際交流推進経費	700,000	700,000	0
・特別講演会経費	350,000	0	350,000
・大学院立上げ活動経費	300,000	300,000	0
・実習指導者連絡協議会経費	150,000	97,872	52,128
・卒業祝賀会経費	300,000	300,000	0
・卒業生記念品代	160,000	131,300	28,700
・就職支援経費	300,000	131,854	168,146
・入試広報活動経費	160,000	213,826	-53,826
・学生課外活動経費	100,000	75,403	24,597
・学習環境整備	1,000,000	1,228,000	-228,000
・記念事業等特別積立金	800,000	800,000	0
小 計	4,820,000	4,478,255	341,745
2. 保健学科同窓会分科会(各専攻単位)運営費補助			
・看護学関係同窓会	1,340,000	1,340,000	0
・検査技術科学関係同窓会	740,000	740,000	0
・理学療法学関係同窓会	280,000	280,000	0
・作業療法学関係同窓会	380,000	380,000	0
・上記振込み手数料	1,260	1,350	-90
小 計	2,741,260	2,741,350	-90
3. 保健学科同窓会運営費			
・同窓会ホームページ及び会報編集会議等	20,000	20,160	-160
・同窓会だより	400,000	358,050	41,950
・同窓会総会等経費	300,000	276,430	23,570
・事務処理等人件費	584,000	584,000	0
・通信費	15,000	29,120	-14,120
・消耗品	35,000	70,546	-35,546
・電気・電話使用料	33,000	29,672	3,328
・信州大学同窓会連合会会費	70,000	70,315	-315
・信州医学振興会会費	50,000	50,000	0
小 計	1,507,000	1,488,293	18,707
4. 予備費	120,789	74,100	46,689
合 計	9,189,049	8,781,998	407,051

収入	9,190,403
支出	8,781,998
差引残額(翌年度繰越額)	408,405

平成18年度委任経理金及び記念事業等特別積立繰越額

平成19年3月31日現在

事 項	17年度繰越額	18年度		19年度繰越額
		歳入額	歳出額	
1. 委任経理金				
・図書購入費	240,118	460,000	500,000	200,118
・学術国際交流推進経費	1,833,617	644,000	250,000	2,227,617
・特別講演会経費	700,705	0	0	700,705
・大学院立上げ活動経費	528,930	276,000	34,160	770,770
小 計	3,303,370	1,380,000	784,160	3,899,210
2. 記念事業等特別積立金	1,600,000	800,000	0	2,400,000
・利息(8月・2月)	7	1,128	0	1,135
小 計	1,600,007	801,128	0	2,401,135
合 計	4,903,377	2,181,128	784,160	6,300,345

平成19年度事業計画(案)

1. 同窓会総会の開催
平成19年6月16日(土) 14:00～16:00 信州大学旭会館3階大会議室
2. 役員会の開催
年1回5～6月
3. 幹事会の開催
年4回
4. 同窓会ホームページの運営
5. 同窓会だよりの発行(5号)
6. 在校生の教育支援
 - 1) 学生図書購入
 - 2) 実習指導者連絡協議会開催
 - 3) 学術国際交流推進(オーストラリア、カーティン工科大学短期留学プログラム)
 - 4) 卒業祝賀会
 - 5) 卒業記念写真
 - 6) 就職支援
 - 7) 学生課外活動支援
 - 8) 保健学科キャンパス学習支援整備
 - 9) 特別講演の開催
 - ①「動脈硬化と再生医療」
池田宇一教授(信州大学大学院医学系研究科 臓器発生制御医学講座 循環病態学分野)
平成19年6月16日(土) 15:00～16:00 旭会館3階大会議室
 - ②他2回(市民公開講座等)
7. 保健学科の運営支援について
 - 1) 入試広報活動支援
 - 2) 大学院支援
 - 3) 記念事業開催
8. 保健学科同窓会分科会支援
 - 1) 看護学専攻:アルプス会・桐の木会
 - 2) 検査技術学専攻:臨嶺会
 - 3) 理学療法学専攻・作業療法学専攻:州嶺会
9. その他
 - 1) 役員改選
 - 2) 信州大学同窓会連合会との連携
 - 3) 信州医学振興会支援

平成19年度医学部保健学科同窓会予算（案）

収入

平成19年5月11日現在

事 項	18年度決算額	19年度予算額	増減（－は減）
前年度繰越	1,149,049	408,405	-740,644
会費（在校生）	320,000	1,040,000	720,000
会費（新入生・3年次編入生含む）	7,720,000	8,215,000	495,000
利息	1,354	0	-1,354
合 計	9,190,403	9,663,405	473,002

支出

平成19年5月11日現在

事 項	18年度決算額	19年度予算額	増減（－は減）
1. 在校生の教育支援及び保健学科の運営費補助			
・図書購入費	500,000	500,000	0
・学術国際交流推進経費	700,000	700,000	0
・特別講演会経費	0	100,000	100,000
・大学院立上げ活動経費	300,000	0	-300,000
・実習指導者連絡協議会経費	97,872	100,000	2,128
・卒業祝賀会経費	300,000	300,000	0
・卒業生記念品代	131,300	140,000	8,700
・就職支援経費	131,854	100,000	-31,854
・入試広報活動経費	213,826	200,000	-13,826
・学生課外活動経費	75,403	100,000	24,597
・学習環境整備	1,228,000	1,200,000	-28,000
・記念事業等特別積立金	800,000	800,000	0
小 計	4,478,255	4,240,000	-238,255
2. 保健学科同窓会分科会（各専攻単位）運営費補助			
・看護学関係同窓会	1,340,000	1,520,000	180,000
・検査技術科学関係同窓会	740,000	880,000	140,000
・理学療法科学関係同窓会	280,000	300,000	20,000
・作業療法科学関係同窓会	380,000	440,000	60,000
・上記振込み手数料	1,350	1,350	0
小 計	2,741,350	3,141,350	400,000
3. 保健学科同窓会運営費			
・同窓会ホームページ及び会報編集会議等	20,160	20,000	-160
・同窓会だより	358,050	400,000	41,950
・同窓会総会等経費	276,430	300,000	23,570
・事務処理等人件費	584,000	584,000	0
・通信費	29,120	30,000	880
・消耗品	70,546	150,000	79,454
・電気・電話使用料	29,672	35,000	5,328
・信州大学同窓会連合会会費	70,315	70,315	0
・信州医学振興会会費	50,000	50,000	0
小 計	1,488,293	1,639,315	151,022
4. 予備費	74,100	642,740	568,640
5. 利 息（8月・2月）	1,354	0	-1,354
合 計	8,783,352	9,663,405	880,053

同窓会役員

会 長：川上由行（医学部保健学科）	理 事：検査技術科学専攻4名	理 事：大学院1名
副会長：山崎一（南箕輪村役場）	小林玉宜（検査技術科学専攻学生）	芳賀亜紀子（医学部保健学科）
理 事：看護学専攻8名	輪湖由香理（松本市医師会医療センター）	幹 事：奥村伸生（医学部保健学科）
森仁史（看護学専攻学生）	川崎健治（医学部附属病院）	山崎章恵（医学部保健学科）
西田緑（看護学専攻学生）	亀子文子（医学部保健学科）	柳澤節子（医学部保健学科）
松本あつ子（医学部附属病院）	理学療法学専攻2名	三好圭（医学部保健学科）
三井貞世（医学部附属病院）	高尾卓（理学療法学専攻学生）	監 事：青木朗（医学部保健学科）
伊藤喜世子（医学部附属病院）	森本正道（竹重病院）	小林利江（医学部附属病院）
細田かず子（医学部附属病院）	作業療法学専攻2名	
丸山順子（松本短期大学）	松島一朗（作業療法学専攻学生）	
上條陽子（医学部保健学科）	井戸芳和（医学部附属病院）	

信州大学医学部保健学科同窓会会則

信州大学医学部保健学科同窓会会則

第1章 総 則

- 第1条 本会は、信州大学医学部保健学科同窓会(以下「本会」という)と称する。
- 第2条 本会は、事務局を松本市旭3丁目1番1号 信州大学医学部保健学科内に置く。
- 第3条 本会は、会員相互の親睦を図るとともに、母校との連携を保ち、その発展に寄与することを目的とする。
- 第4条 本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行なう。
- 一 会員の親睦及び研修に必要な事項
 - 二 母校の発展に関する事項
 - 三 その他必要と認められる事項
- 第5条 本会は、必要に応じて各専攻等を単位とする分科会を置くことができる。
- 2 分科会の設置及び運営に関する事項は、理事会の承認を経て各分科会が定める。

第2章 会 員

- 第6条 本会の会員は次のとおりとする。
- 一 正会員
 - イ 信州大学医学部附属助産婦学校、信州大学医学部附属衛生検査技師学校、信州大学医学部附属臨床検査技師学校の卒業生
 - ロ 信州大学医療技術短期大学の在生及び卒業生
 - ハ 信州大学医学部保健学科(以下「本学科」という)の在生及び卒業生
 - 二 信州大学医学部保健学科大学院修士課程(「以下本学科大学院修士課程」という)の在生及び修了生
- 二 特別会員
 - イ 本学科教員
 - ロ 本学科元教員
 - ハ 前項以外の者で理事会の承認を得た者

- 第7条 会員が死亡または会員たる資格を喪失したときは、退会したものとみなす。
- 第8条 会員が、本会の名誉を傷つけ、または本会の趣旨に反する行為をしたときは、総会において出席会員の4分の3以上の議決により、これを除名することができる。
- 第9条 正会員は、会費として6万円を本学科入学時に納入するものとする。また、3年次編入生については編入時に4万円納入するものとする。ただし、退会または除名された会員が既に納入した会費その他の抛出金は返還しないものとする。

第3章 役員等

- 第10条 本会に次の役員を置く。
- 一 会 長 1名
 - 二 副会長 1名
 - 三 理 事 17名（看護8名;検査4名;理学2名;作業2名;大学院生1名）
 - 四 幹 事 若干名
 - 五 監 事 2名
- 第11条 役員は、次の職務を行なう。
- 一 会長は、本会を代表し、会務を総括する。
 - 二 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代行する。
 - 三 理事は、会員の代表として本会の運営に当たる。
 - 四 幹事は、本会の実務に当たる。
 - 五 監事は、本会の会計を監査し、総会に報告する。
- 第12条 役員は、次により選出又は委嘱する。
- 一 会長は、総会において正会員の中から選出する。
 - 二 副会長は、会長が正会員の中から推薦し委嘱する。
 - 三 理事は、正会員の中から各専攻毎に選出し委嘱する。
 - 四 幹事は、会長が委嘱する。
 - 五 監事は、総会において正会員の中から選出する。

- 第13条 役員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。
 2 補欠による役員の任期は、前任者の残任期間とする。
 3 役員は、任期が満了しても後任者が就任するまではその職務を行なうものとする。

第4章 名誉会長及び顧問

- 第14条 本会に名誉会長を置き、本学科の学科長を推戴する。
 第15条 本会に顧問を置くことができる。顧問は、総会の議を経て会長が委嘱する。
 2 顧問は、重要事項について会長の相談に応ずる。

第5章 会議

- 第16条 総会は、原則として毎年1回開催し、次の事項を審議決定する。
 一 事業及び決算報告
 二 事業計画及び予算
 三 会則の制定及び改廃
 四 役員の選出
 五 顧問の推挙
 六 その他の必要事項
 2 会長は、総会を召集し、理事会の議を経て前項に定める事項を提案する。
 第17条 会長は必要と認めたととき、臨時総会を開催することができる。
 第18条 総会の議長は、出席会員の中から選出する。

- 第19条 総会は、日時、場所、付議すべき事項等を示して召集する。
 第20条 総会に出席できない会員は、あらかじめ文書をもって意見を表示することができる。
 第21条 総会の議事は出席会員の過半数で決し、可否同数のときは議長がこれを決する。
 第22条 総会は、議事録を作成し、これを保存する。
 第23条 理事会は、会長、副会長、理事及び幹事によって組織する。
 第24条 理事会は、会長が必要と認めたととき、又は理事の5分の2以上の要求があったときに開催する。
 第25条 理事会は、会長が召集し、議長となる。
 第26条 理事会の議事は、出席者の過半数で決する。
 第27条 理事会は必要に応じて委員会を置くことができる。

第6章 会計

- 第28条 本会の経理は、会費及び寄付金その他の収入をもって充てる。
 第29条 本会の会計年度は、毎年4月1日から始まり翌年3月31日に終わる。

附則

- この会則は、平成15年4月1日から施行する。
 この会則は、平成16年4月1日から施行する。
 この会則は、平成19年4月1日から施行する。

信州大学医学部保健学科同窓会会計細則

- 同窓会費は6万円とし、本学本学科入学時に一括納入することを原則とする。また、3年次編入生及び修士大学院生については、編入時もしくは大学院入学時に4万円を納入するものとする。ただし、本人からの申し出があった場合は、同窓会理事会が分割払いを認めることができる。
- 本学科同窓会費6万円の使用内訳は、次のとおりとする。ただし、この枠を越えて使用する必要が生じたときは、同窓会理事会の承認を必要とする。
 - 在校生の教育支援及び医学部保健学科の運営に関すること。 3万円
 - 保健学科同窓会分科会(各専攻単位)の運営に関すること。 2万円
 - 医学部保健学科同窓会としての運営に関すること。 1万円
 また、3年次編入生及び修士大学院生の同窓会費4万円の使用内訳は、次のとおりとする。
 ただし、この枠を越えて使用する必要が生じたときは、同窓会理事会の承認を必要とする。
 - 在校生の教育支援及び医学部保健学科の運営に関すること。 1万5千円
 - 保健学科同窓会分科会(各専攻単位)の運営に関すること。 2万円
 - 医学部保健学科同窓会としての運営に関すること。 5千円
 保健学科同窓会会員が修士課程に入学した場合は、(1)在学生の教育支援及び医学部保健学科の運営に関して1万5千円を納入すること。
- 金融機関への振込手数料は、会員の負担とする。
- 幹事代表者名で金融機関に同窓会の口座を設け、会計担当幹事が通帳・印鑑を管理する。
- 同窓会費の徴収は、入学時に行ない、徴収後は速やかに同窓会費支払者リストを作成する。
- 会計担当幹事は、会計年度終了後に速やかに決算報告書を作成し、監査を受ける。
- 本細則の改正は、同窓会総会で行なう。

附則

- この細則は、平成15年4月1日から施行する。
 この細則は、平成16年4月1日から施行する。
 この細則は、平成19年4月1日から施行する。

編集後記

地球温暖化の影響からでしょうか、今年の夏は例年以上に暑い日が続きました。多治見・熊谷では国内観測史上最高の40.9度まで達し、日本全国で最高気温や連続猛暑日の記録が更新されました。もともと私は冷房で体調を崩しやすいのですが、今夏ほど冷房のある生活に感謝した年はありませんでした。

さて、保健学科の同窓会だよりも5号目になりましたが、皆様いかがでしたでしょうか？ 原稿依頼を快く引き受けていただいた先生方、編集にあたりご協力いただいた方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。

保健学科 M.K.